

訓練用に解体現場を提供

黒川地域行政事務組合
消防本部

日本建設に感謝状贈呈



左から清野消防長、山本代表、片山支店長、阿部課長

黒川地域行政事務組合消防本部は、災害対応訓練のため、解体工事の施工現場を提供した日本建設仙台支店に対して19日に感謝状を贈呈した。同本部黒川消防署で感謝状の贈呈式が行われ、同部の清野康広消防長が、日本建設仙台支店の片山

洋一支店長と同社営業部の阿部繁輝課長、協力会社の山本佳輝星輝建設代表取締役感謝状を手渡した。

訓練は、地震や土砂災害などにより建物が崩れたケースに備えるため、同組合が大和町教育委員会に依頼し、施工者の日

本建設らの協力で実現した。訓練期間は6日間で、同社は訓練場所や解体したコンクリート破片（コンガラ）を積み上げたがれきの山（がれ場）を提供した。

清野消防長は「こちらの訓練の予定日に合わせてスケジュールを調整して頂き、おかげさまでより現場に近い環境で訓練することができた。この経験を災害救助活動に活かしたい」と感謝を述べた。片山支店長は「このような形で地域貢献ができる」と初めて知った。これからも積極的に協力させていきたい」と話し、山本代表は「コンガラを積み上げたがれ場は、うまく災害現場を再現できたと思う。役に立ってよかった」と振り返った。